

通知し、又は研究対象者等が容易に知り得る状態に置くための文書

### 《研究課題名》

未熟児網膜症治療の新たなリスクファクターの解明

### 《研究対象者》

2003年1月から2022年10月までに周産期母子医療センターネットワークデータベースに登録された方

## 研究協力をお願い

滋賀医科大学において上記研究課題名の研究を行います。この研究は、対象となる方の周産期母子医療センターネットワークデータベースに提供いただいた情報を用いて行う研究であり、研究目的や研究方法は以下の通りです。情報の使用について、直接ご説明して同意はいただきず、このお知らせをもって説明に代えさせていただきます。対象となる方におかれましては、研究の主旨・方法をご理解いただきますようお願い申し上げます。

なお、本研究に関するご質問は下記（４）の問い合わせ先へご連絡ください。

## （１）研究の概要について

### 《研究課題名》

未熟児網膜症治療の新たなリスクファクターの解明

### 《研究期間》

滋賀医科大学学長許可日～2027年8月31日

### 《研究責任者》

滋賀医科大学 眼科学講座 小幡峻平

## （２）研究の意義、目的について

### 《意義》

未熟児網膜症の治療予測モデルを確立することによって、治療が不要な児の眼科診察を減らし、治療の可能性が高い児に対して的確な情報が提供できるようになるといった、日常臨床に直結した貢献ができることを期待しています。

### 《目的》

コロナ禍においてどのような変化がおき、さらには未熟児網膜症診療に影響をどのような影響を及ぼしているかを検討するとともに、このデータベースを用いて新たな未熟児網膜症治療のリスクファクターの発見、精度の高い未熟児網膜症の治療予測モデルを構築することを目的としています。

## （３）研究の方法について

### 《研究の内容》

NPO 法人新生児臨床研究ネットワークに保有する周産期母子医療センターネットワークデータベースから、個人を特定することができない状態で研究に必要な情報の提供を受けます。提供を受けた情報を用いて、データを解析を行い、治療予測モデルを構築します。

### 《利用する情報の項目》

母体に関する情報、妊娠合併症、分娩に関する情報、新生児に関する情報、合併する呼吸器疾患・循環器疾患・神経疾患・感染症・消化器疾患・未熟網膜症・先天異常に関する情報、聴覚スクリー

通知し、又は研究対象者等が容易に知り得る状態に置くための文書  
ニングの結果など

**《試料・情報の管理について責任を有する者》**

滋賀医科大学 眼科学講座 小幡峻平

**(4) 本研究に関する問い合わせ先**

担当者：滋賀医科大学 眼科学講座 小幡峻平

住 所： 520-2192 滋賀県大津市瀬田月輪町

電 話 番 号： 077-548-2276

メールアドレス： [hqophth@belle.shiga-med.ac.jp](mailto:hqophth@belle.shiga-med.ac.jp)